

022

災害避難対応のキャンピングカー及び 災害ボランティアのための簡易宿泊仕様の ナミレボックス

取組主体

合同会社ナミレ

従業員数

2人

想定災害

全般

実施地域

静岡県

- 災害時、インフラのない環境でも快適に避難生活を過ごせるキャンピングカーや、軽トラックに搭載し、災害ボランティアが現地で宿泊できるナミレボックスの開発・販売。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

インフラのない環境でもストレスなく避難生活を過ごせるキャンピングカー

- 合同会社ナミレは災害時の避難生活を支援する「災害避難対応キャンピングカー」及び「ナミレボックス」を開発、販売している。同社は、今後発生する可能性がある南海トラフ地震への備えが急務との同社代表の考えのもと、平成29年に設立された。
- 災害避難対応キャンピングカーは、避難生活でのストレスを低減する仕様の軽トラック搭載の車で、災害避難時にインフラがない状態でも2人で3日間生活できる。
- 実際の装備は、水20リットルタンク、カセットコンロ、簡易トイレ、2名用ソファ、折り畳み式テーブル、24時間換気扇、ソーラーバッテリーシステム、ベッド、収納庫等である。



災害避難対応キャンピングカー内部と同社代表



災害避難対応キャンピングカー

軽トラックから載せ下ろしでき、災害ボランティアが宿泊できるナミレボックス

- ナミレボックスは、軽トラックに搭載し、必要な場所で載せ下ろしできるキャビン部及び支柱の総称である。災害ボランティアが災害地へ移動し、現地で簡易宿泊仕様のナミレボックスを下ろした後は、キャビンは宿泊所、軽トラックは瓦礫の運搬等に使用できる。
- 災害ボランティアは、現地で宿泊やトイレ関連の悩みがあり、約40%の方が体調不良になり本来のボランティア活動に力を発揮できていないという実態がある。一方で、災害地での瓦礫運搬等には小回りがきく軽トラックが重宝され、多くの台数も必要となる。
- ナミレボックスは、2段ベッド、断熱壁、水、トイレ、換気、ソーラーバッテリーシステム等により、睡眠やトイレ、スマートフォン充電の悩みから解放される仕様となっている。



ナミレボックス

2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

- 災害避難対応キャンピングカーは、インフラのない環境でも利用できるため、テレワークでも活用できる。
- ナミレボックスは内部装備を変更すればキャンプのテント代わりに、移動会議室、移動販売にも活用できる。

3 現状の課題・今後の展開等

- 災害避難対応キャンピングカーでは、キャビンの10%軽量化（車の操縦安定性改善）とアルミフレームの結露対策、暖房及び冷房装置の開発を実施中である。ナミレボックスでは、載せ下ろしする際に支柱の取付や伸縮作業に力が必要となるので、支柱4本が同時に伸縮する機能を開発し、さらなる効率化を実現したいと考えている。

担当者の声

- 究極の防災グッズと呼ばれるキャンピングカーにおいて、実際の避難時に必要な装備を備えた仕様が当社のキャンピングカーです。普段使いを重視した設計なので、キャンプへ行く感覚で避難できることを目指して開発しました。
- ナミレボックスは、どこでも載せ下ろしができるのでアイデア次第で大変役立つアイテムになると考えています。

問合せ先

合同会社ナミレ 法人番号：5080403003430
TEL：070-2615-2670 E-Mail：namire.nakamura@gmail.com

サイト URL

